新青丸研究航海報告

東京大学大気海洋研究所

＊ 航海番号　　KS-17-10次研究航海

＊ 観測海域　　（和文）三陸沿岸～沖合域
（英文）Coastal and offshore regions of Sanriku

＊ 航海期間　　平成29年9月5日（火）～平成29年9月17日（月）

＊ 出港日時・場所　　9月5日13時　宮古港

＊ 入港日時・場所　　9月17日8時　石巻港

＊ 寄港期間・場所　　9月6日6時に船越湾内にて通船による1名の乗船、9月9日8時に船越湾内にて通船による1名の乗船、4名の下船

＊ 航海の研究題目　（和文）外洋域における海面直上の海上風と波浪の現場観測システムの構築による海面抵抗係数と波浪の関係解明

（英文）Clarifying the relationship between surface waves and the drag coefficient by developing an in situ system to observe the sea surface wind and waves in the offshore region

＊ 主席研究員（氏名・所属・職名・e-mail アドレス◎は@）
小松幸生・東京大学大学院新領域創成科学研究科・准教授・kosei◎aori.u-tokyo.ac.jp

＊ 研究内容，主調査者（e-mail アドレス），観測項目

１．太平洋沖合から三陸内湾域に伝播して来るうねり性波浪の変調過程の解明
小松幸生（kosei◎aori.u-tokyo.ac.jp）
風速計付き GPS 波浪ブイの係留観測

２．外洋域における海面抵抗係数と波浪の関係解明
小松幸生（kosei◎aori.u-tokyo.ac.jp）
超音波風速計及びモーションセンサ付き多項目観測ブイによる連続観測

３．外洋域における大気海洋境界過程の観測システムの運用試験
吉田 聡（yoshida.akira.4z◎kyoto-u.ac.jp）

気象ラジオゾンデ、GNSS 計、多項目観測ブイ等による海象・気象連続観測

４．海鳥による海象・気象観測システムの精度検証
後藤佑介　（goto924◎gmail.com）
小型センサを取り付けたオオミズナギドリの放鳥実験

５．三陸陸棚縁辺における海底境界流の実態解明
柳本大吾（daigo◎aori.u-tokyo.ac.jp）
係留系による測流、CTD/LADCP の陸棚横断24時間連続観測

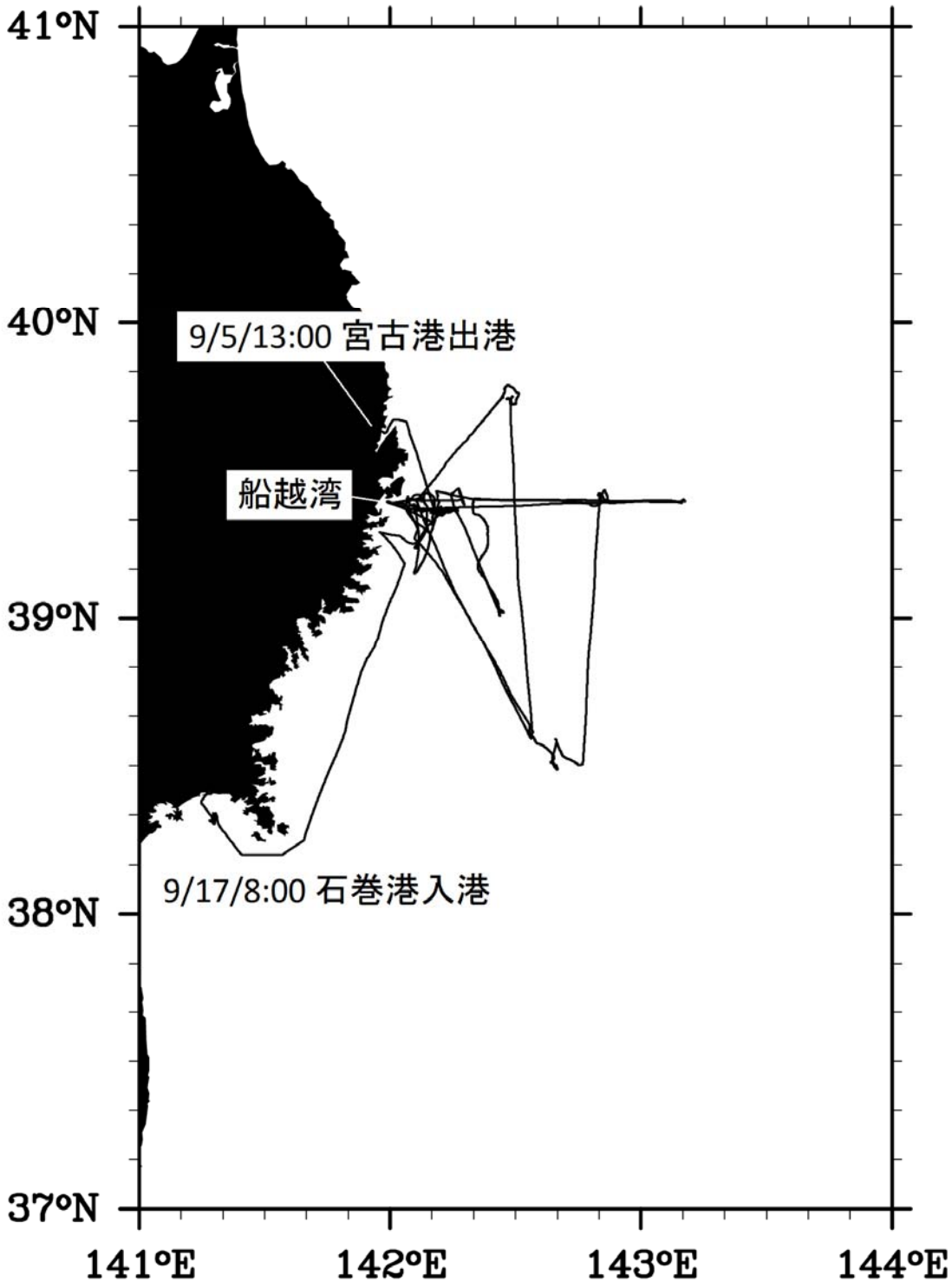
６．ドローンによる海面直上風の観測試験
巻　俊宏（maki◎iis.u-tokyo.ac.jp）
風速計付きドローンによる海面直上風の観測

＊ 乗船研究者氏名・所属・職名

小松　幸生・東京大学大学院新領域創成科学研究科・准教授
柳本　大吾・東京大学大気海洋研究所・助教
松村　義正・東京大学大気海洋研究所・助教
仁科　慧・東京大学大気海洋研究所・学術支援職員
藤井　孝樹・東京大学大気海洋研究所・大学院生
王　子健・東京大学大気海洋研究所・大学院生
後藤　佑介*1・東京大学大気海洋研究所・大学院生
孫　艷枚*2・東京大学大気海洋研究所・大学院生
巻　俊宏*3・東京大学生産技術研究所・准教授
増田　殊大*3・東京大学生産技術研究所・特任研究員
山田　大介*3・東京大学工学部・学部生
吉田　聡・京都大学防災研究所・准教授
根田　昌典・京都大学大学院理学研究科・助教
花房　秀哉・京都大学大学院理学研究科・大学院生

*1：9/6船越大島乗船、9/9船越大島下船
*2：9/9船越大島乗船
*3：9/9船越大島下船

＊ 航跡・測点図


41°N
40°N
39°N
38°N
37°N
141°E
142°E
143°E
144°E
9/5/13:00 宮古港出港
船越湾
9/17/8:00 石巻港入港